

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年4月10日 (第9回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	伊那市 20209
地域名 (地域内農業集落名)	美篤 (芦沢・笠原・南割・上大島・末広・上原・中県・下県・上川手・下川手・青島)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	576 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	540.1 ha
② 田の面積	508.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	67.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	64.24 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.43 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は農家の高齢化と世代交代が急速に進んでいる中で、農業者の所得確保を図りながら、農地を守り、次世代に地域農業を継承していく取組の強化が課題である。

【地域の基礎的データ】

担い手:31経営体、団体経営体(法人・集落営農組織等)6経営体  
 主な作物:水稲、白ねぎ、キュウリ、ブロッコリー、アスパラガス、アルストロメリア

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

野菜を中心とした複合経営を目指す。米穀については、集落営農組織による基幹作業の共同化による低コスト生産を目指す。園芸品目については、農家所得向上のため、アスパラガス、ブロッコリー、キュウリ、白ネギ、トルコギキョウ等の生産拡大や栽培基準の統一による品質向上とブランド化を目指す。  
 環境保全、地産地消、食育活動については地域住民の協力も仰ぎ、活力ある地域づくりを進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大と担い手への農地集積を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	23 %	将来の目標とする集積率	60 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に集積・集約化を進める。

